

八戸市美術館 今後の企画のご案内



2025年の展覧会ラインナップ

会期	展覧会名
2月15日(土)～4月7日(月)	八戸アーティストファイル 2025 Finding Our Beauty
3月1日(土)～6月15日(日)	コレクションラボ 010 西野こよ 表現への挑戦
4月19日(土)～6月15日(日)	浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化
6月28日(土)～8月31日(日)	ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—
9月13日(土)～12月8日(月)	コレクションラボ 011
9月18日(木)～9月21日(日)	八戸市美術展
9月25日(木)～9月28日(日)	
10月11日(土)～12月15日(月)	古代エジプト美術館展 (※)
12月13日(土)～	コレクションラボ 012

(※は、美術館以外の主催者による企画。上記以外の展覧会は決定次第発表します)

お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531
 E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式 HP | <https://hachinohe-art-museum.jp>
 広報担当者 | 類家、高橋



主な企画展の概要

八戸アーティストファイル 2025 Finding Our Beauty

八戸地域にゆかりあるアーティストを紹介する展覧会です。地域の文化関係者と美術館が「プレゼンター(推薦者)」となって「今、紹介したいアーティスト」8人を選出して展示します。展示のほか、出展アーティストによるプロジェクトや音楽ライブ、ギャラリートーク、未来のアーティストとなる中学生・高校生向けのアートキャンプも実施予定です。

アーティスト | 石橋貴美子、加藤千晶、佐々木遊、庭田薫、三村紗瑛子、山本耕一郎、YAM、米内安芸

プレゼンター | 小倉学(八戸クリニック街かどミュージアム館長)、東片悠平(アーティスト/八戸工業大学准教授)、松浦大輔(デーリー東北新聞社報道部長兼クロスメディアコーディネーター)、松田和幸(八戸彩画堂社長)、吉川拓志(ソールブランチ新丁)、吉田章恵(帆風美術館館長)、大澤苑美(八戸市美術館)

会期 | 2月15日(土)～4月7日(月)

休館日 | 火曜日(2月18日は開館)

観覧料 | 一般 500 円、高校生以下無料、割引対象者 400 円

※割引対象者：20名以上の団体料金/有料駐車場ご利用の運転手1名に団体料金適用/八戸市内および近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)在住の65歳以上の方/障害者手帳をお持ちの方とその付添者

フリーパス(かおパス) | 一般 800 円、割引対象者 600 円(本展に限り何度でも観覧可能)

※各種割引とフリーパスは重複して使用できません。

プレス向け内覧会 | 2月14日(金)14:00～16:00

主催・問合せ | 八戸市美術館

協力 | 八戸市文化協会

後援 | 八戸市教育委員会、青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局 BeFM

グラフィックデザイン | 花田耕助(東北のデザイン社) **会場構成** | 佐藤慎也 **担当学芸員** | 大澤苑美

関連企画

●プロジェクト

①山本耕一郎「うわさプロジェクト mini」

日時 | 展覧会会期中随時

全国で人気の「うわさプロジェクト」が帰ってくる“らしいよ”。自分に合ううわさバッジを選んで胸につけよう。(アートファーマープロジェクト 運営に参加するアートファーマーを募集します。)



②山本耕一郎「美のない美術館」

日時 | 展覧会会期中随時

SNS で話題になった、八戸市美術館の館銘板の「美」。あなたなら何を入れる？

●鑑賞プログラム

アーティストとプレゼンターによるギャラリートーク

・2月15日(土) 11:00 ~ 12:00

石橋貴美子、佐々木遊、庭田薫、松田和幸、小倉学、吉田章恵、大澤苑美

・4月6日(日) 11:00 ~ 12:00

加藤千晶、三村紗瑛子、山本耕一郎、米内安芸、東方悠平、松浦大輔、大澤苑美

参加方法 | 要展覧会チケット、当日先着 20 名

●音楽ライブ

zodiac nova, pop-machine & contemporary system MUSIC LIVE

日時 | 2月24日(月祝) 18:00 ~ 19:00

参加方法 | 要展覧会チケット、当日先着 30 名

●中学生・高校生向け企画

Welcome Students! 春休みアーツキャンプ

日時 | 3月29日(土) ~ 30日(日) 10:00 ~ 17:00

対象 | 新中学2年生 ~ 高校3年生、美大志望生。定員 15 名

講師 | 藤浩志(美術家/秋田公立美術大学教授)

参加方法 | 八戸市美術館メールに要申込(3/23㊦切)、道具持参、デッサン素材購入費として 300 円程度

2日間、デッサンを通して、ものを見る力、とらえる力を鍛えるアーツキャンプ。美大に進学した先輩やアーティストからのアドバイスも受けられます。



1



2



3



4



5



6



7



8

1. 石橋貴美子《えほん》2016 2. 加藤千晶《「いってらっしゃい」と「おかえり」の間のドラマ(母子像)》2016 3. 三村紗瑛子《あなたを見つめる先に》2024 4. 山本耕一郎「八戸のうわさ」2010 ~ 2011 5. 庭田薫《眩耀》2024 6. 米内安芸「八戸セメント」2011 7. 佐々木遊「羽仁もと子とわれらの研究室展ポスター」2024 8. YAM《組曲のためのコンポジション》2017 (全て個人蔵)



コレクションラボ 010

西野こよ 表現への挑戦

コレクションラボでは、当館のコレクションが持つ魅力や可能性を探る展示を行なっています。10回目のコレクションラボでは、令和6年度に新規収集した南部菱刺し作家の西野こよ(1931-2019)の作品を展示します。

南部菱刺しとは、青森県南部地方に伝わる刺し子で、刺し子とは衣類の補強や保温のために施す刺繍です。青森県内では津軽地方の「こぎん」と並ぶ伝統的な刺繍技法です。西野は、一度は廃れかけた菱刺しの復興と普及に尽力する一方、美術作品としての表現にも取り組んできました。本展では美術作品を中心に展示し、西野の表現活動の一端を紹介します。

会期 | 3月1日(土)～6月15日(日)(※展示替えあり)

休館日 | 火曜日、5月7日(4月29日、5月6日は開館)

観覧料 | 無料

主催・問合せ | 八戸市美術館

関連企画

●講演会

「菱刺しの歴史と新たな挑戦」と題し、南部菱刺しの歴史と西野こよの功績を振り返るとともに、作品の魅力について語ります。

日時 | 3月23日(日) 10:30～12:00

講師 | 川守田礼子(八戸工業大学感性デザイン学科教授)

定員 | 50名

申込 | メールまたは電話(2月26日受付開始予定)



西野こよ《ふるさとの便り》
2004



西野こよ《潮溜り》2002



歌川国芳《主馬佐酒田公時 鞠扇尉碓井貞光 瀧口内舎人源次綱》1861(文久元年)八戸クリニック街かどミュージアム蔵



歌川広重《東海道五十三次之内 庄野 白雨》1833～34(天保4～5年)八戸クリニック街かどミュージアム蔵

浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化

浮世絵に出会い、今(コンニチ)を見つめ、江戸文化を大観(タイカン)しながら体感(タイカン)できる展覧会です。浮世絵の制作工程や、彫師、摺師の技、描かれたモチーフ、関わりのあるコミュニティなど、多角的に紹介します。詳細は続報をお待ちください。

会期 | 4月19日(土)～6月15日(日)

休館日 | 火曜日、5月7日(4月29日、5月6日は開館)

観覧料 | 後日発表予定

主催・問合せ | 八戸市美術館

共同企画 | 八戸クリニック街かどミュージアム

ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—

世界的に人気を集めるポケモンを表現した工芸作品を展示する「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—」が、いよいよ八戸市美術館にやってきます。本展に限り、8月は休まず開館します。観覧料や会期中のイベントなど、詳細は続報をお待ちください。

会期 | 6月28日(土)～8月31日(日)(※展示替えあり)

休館日 | 7月1日、8日、15日、22日

観覧料 | 後日発表予定

主催 | ポケモン×工芸展八戸実行員会(八戸市、青森朝日放送、VISITはちのへ)、NHK エンタープライズ東北

監修 | 国立工芸館

特別協力 | 株式会社ポケモン

制作協力 | NHK プロモーション

後援 | 青森県教育委員会、八戸市教育委員会、東奥日報社、デーリー東北新聞社、東日本放送、岩手朝日テレビ、八戸テレビ放送、コミュニティラジオ局 Be FM

問合せ | 八戸市美術館



植葉香澄《羊歯唐草文シェイミ》2022 個人蔵
© 植葉香澄 撮影：斎城卓



吉田泰一郎《シャワーズ》2022 個人蔵 © 吉田泰一郎 撮影：斎城卓

©2025 Pokémon. ©1995-2025 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

TM, ®, and character names are trademarks of Nintendo.



ミイラマスク／プトレマイオス朝時代 古代エジプト美術館 渋谷蔵



人型木棺／プトレマイオス朝時代初期 古代エジプト美術館 渋谷蔵



第 61 回八戸市美術展の様子

古代エジプト美術館展

日本唯一の古代エジプト専門美術館「古代エジプト美術館 渋谷」のコレクションを紹介する展覧会です。青森県初開催となり、ミイラやミイラマスク、木棺など世界的に貴重な遺物約 200 点を展示します。詳細は続報をお待ちください。

会期 | 10 月 11 日(土)～12 月 15 日(月)

主催 | デーリー東北新聞社、古代エジプト美術館 渋谷

観覧料 | 後日発表予定

共催 | 八戸市美術館

問合せ | デーリー東北新聞社地域ビジネス局コミュニティー事業部 (0178-80-7299 平日10:00～17:00 土・日・祝日除く)

第 62 回八戸市美術展

八戸市文化協会が長年実施する八戸市美術展を、八戸市美術館が共催により開催します。前・後期の 2 週にわたって多彩なジャンルの作品が展示され、会期中には市長賞をはじめとした各賞の表彰式を行います。

前期 | 9 月 18 日(木)～21 日(日)

書道・第 38 回八戸市学生書道展

後期 | 9 月 25 日(木)～28 日(日)

絵画・写真

観覧料 | 無料

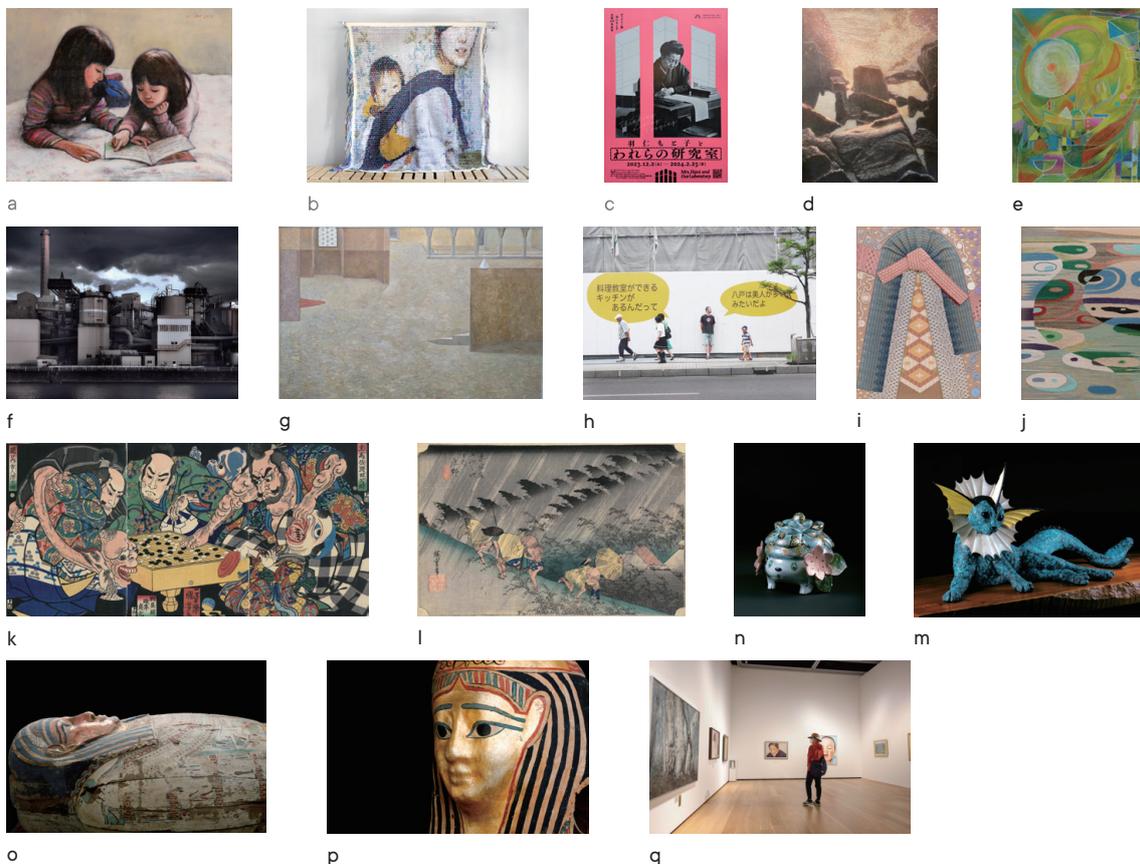
主催・問合せ | 八戸市文化協会

(0178-43-1149 平日10:00～17:00 土・日・祝日除く)

共催 | 八戸市美術館



広報用画像



[キャプション]

• a 石橋貴美子《えほん》2016 • b 加藤千晶《「いってらっしゃい」と「おかえり」の間のドラマ(母子像)》2016 • c 佐々木遊「羽仁もと子とわれらの研究室展ポスター」2024 • d 庭田薫《眩耀》2024 • e YAM《組曲のためのコンポジション》2017 • f 米内安芸「八戸セメント」2011 • g 三村紗瑛子《あなたを見つめる先に》2024 • h 山本耕一郎「八戸のうわさ」2010～2011 • i 西野こよ《ふるさとの便り》2004 • j 西野こよ《潮溜り》2002 • k 歌川国芳《主馬佐酒田公時 靱原尉碓井貞光 瀧口内舎光源次綱》1861(文久元年) • l 歌川広重《東海道五十三次之内 庄野 白雨》1833～34(天保4～5年) • n 植葉香澄《羊齒唐草文シェイミ》2022© 植葉香澄 撮影：斎城卓(※) • m 吉田泰一郎《シャワーズ》2022© 吉田泰一郎 撮影：斎城卓(※) • o 人型木棺／プトレマイオス朝時代初期 • p ミイラマスク／プトレマイオス朝時代 • q 第61回八戸市美術展の様子 (※別途表記 ©2025 Pokémon. ©1995-2025 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.TM, ®, and character names are trademarks of Nintendo.)
 • 所蔵 a-g,n,m：個人蔵、k,l：八戸クリニック街かどミュージアム蔵、o,p：古代エジプト美術館 渋谷蔵

広報用画像をご希望の方は、【1.会社名/組織名、2.媒体名・媒体の種類(雑誌、テレビ、webなど)、3.ご担当者名、4.ご連絡先、5.掲載/放送予定日、6.画像到着希望日、7.ご希望の写真が掲載されているプレスリリースの発行日、8.ご希望の写真記号】をメール、またはFAXに明示の上、下記、お問い合わせ先までご連絡ください。

[画像の貸出条件]

• 画像は本企画・美術館の紹介の目的のみにお使いいただけます。• 画像データは第三者へ譲渡せず、使用後すみやかに消去してください。
 • 画像のトリミングについては事前にご相談ください。 • 作品画像の上に図や文字を重ねることはできません。 • 画像を掲載、放送する際には、指定のクレジット表記を必ずいれてください。• 画像を掲載、放送する前に、ゲラ等掲載案をお送りください。担当者が確認します。 • 新聞紙、雑誌、書籍等の印刷物に画像を使用する際は、八戸市美術館に1部ご寄贈ください。

お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531
 E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式 HP | https://hachinohe-art-museum.jp
 担当者(広報)| 類家、高橋